

出雲高校ホームページへ ようこそおいでくださいました

このたび校長として新着任した多々納雄二（たたのゆうじ）と申します。出雲高校第32期卒業で、教諭として平成10年度から17年度まで8年間本校に勤めておりました。歴史と伝統のある母校での勤務に身の引き締まる思いです。先達により脈々と受け継がれてきたよき伝統を確かに継承しつつ、一方で時流に即した柔軟な対応にもあたっていく所存です。どうぞよろしく願いいたします。

本校は、大正9（1920）年の島根県立今市高等女学校の創設に始まり、昨年度の令和2年度（2020年度）に創立100周年を迎えた歴史と伝統に彩られた県下有数の進学校です。

儒教の教典「中庸」にある

「至誠息むこと無し 息まざれば則ち久し

久しければ則ち微有り」に基づく「久微精神」

を大切にして、生徒と教職員が相睦み合いながら、学習、探究活動、部活動、生徒会活動等に日々意欲的に取り組んでいます。



大学、企業、行政及び地域の皆様方からご支援とご協力をいただきながら、5年間取り組んできたSGH（スーパー・グローバル・ハイスクール）事業は終了しましたが、第2期4年目となるSSH（スーパー・サイエンス・ハイスクール）でSGH事業の成果を受け継ぎ、教育プログラムを改善して探究学習の充実を図ることによって、変化の激しいこれからの社会において活躍するために必要となる資質・能力を育成できるよう、出雲高校教育のさらなる魅力化に邁進していきたいと考えております。

昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大の禍にありながらも、生徒と教職員は、オンラインを活用した取組など、様々な工夫を凝らして教育活動を継続し、進学実績、部活動など、多方面で力を発揮してくれました。こうした勢いのある流れを止めることなく、別掲のグランドデザイン（学校経営方針等）に基づき、本校が育てたい生徒像「地域・社会のリーダーとして貢献できる人材」の育成に向けて、スローガン「自立・協働・挑戦」と、サントリーの創業者である鳥井信治郎がたびたび発したという「やってみなはれ」を合い言葉にして、失敗を恐れず前傾姿勢で挑戦し続け、次なる百年に向けた新たな時代への一步を踏み出していきたいと思っております。

また、学園の指標、学校経営方針等に通じるものとして、学校のありたい姿・姿勢を、

- 1) 愛される学校（信頼され、期待される学校・社会に開かれた、社会とつながる学校）
- 2) アイに満ちた学校（愛・～合い 学び合い・分かち合い・支え合い・高め合い 等）
- 3) 見続ける学校（見る・見とる・見立てる・見抜く・見定める・見守る・見通す 等）

と掲げ、教職員一同、生徒を支援するとともに、生徒との共学共創により、百年の歴史と伝統の上に更なる進化を遂げていきたいと考えております。

本校ホームページは、日々更新してまいりますので、生徒の活躍等、ぜひご覧いただくとともに、本校教育の推進に皆様方のご理解とご支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。

令和3年4月

島根県立出雲高等学校 校長 多々納 雄二